

品川区立図書館からのよみきかせにおすすめの絵本

# ねえ、この本よんで!

2007年9月号

~ 昔ばなし ~



毎月23日は、しながわ親子読書の日!

にんじんさんがあかいわけ

松谷 みよ子/ぶん  
ひらやま えいぞう/え  
童心社



むかしむかし だいこんさんと  
ごぼうさんと にんじんさんが  
おふろに入ったんだって。

どんなふうに入ったのかな?

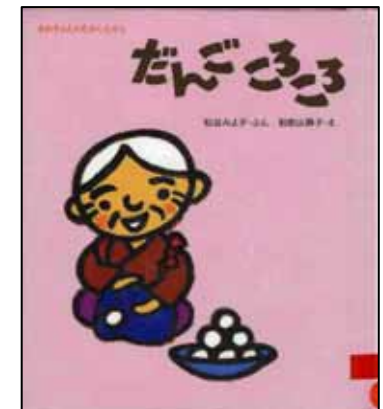
(1歳から)

だんごころころ

松谷 みよ子/ぶん  
和歌山 静子/え  
童心社

むかしむかし おばあさんが  
つくっただんごが ころころ  
ころころ ころがって あなの  
なかにおっこちた。だんごをお  
いかけて おばあさんも あな  
のなかにとびこんだ。

(1歳から)



## ふくろうのそめものや

日本民話

山口 マオ / 絵

鈴木出版



むかし、からすはまっしろなとりだった。

ふくろうのそめものやで、からだをすてきないろにそめてもらおうとおもって、いろいろとちゅうもんをだした。

さて、なにいろになったのかな。

(2歳から)

## おむすびころりん

松谷 みよ子 / 文

長野 ヒデ子 / 絵

童心社



むかしむかし、ばあさまがもっていたおむすびが、ころころころげてあなのなかへ。あなからはふしぎなうたが、きこえてきた。ばあさまつられて、あなのなかへ。おみやげは、おおばんこばん。

これをきいた、となりのばあさまは・・・。

(3歳から)

## あたごの浦 讃岐のおはなし

脇 和子・脇 明子 / 再話

大道 あや / 画

福音館書店

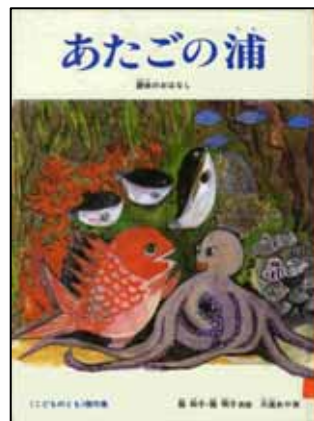
ある月のきれいなばん、海からあがったことたいは、魚たちをあつめてえんかい芸をはじめた。

うたったりおどったり、とくいなかくし芸をみせあったりした。

どんな芸がとびだしたやら。

やがて、お月さんがかたむいたころ、魚たちはまたそろって海へかえっていった。

(3歳から)



## さんまいのおふだ 新潟の昔話

水沢 謙一 / 再話

梶山 俊夫 / 画

福音館書店

てらのこぞうが、山に花をさがしにでかけた。日がくれてかえれなくなりおばばのすむうちに、とめてもらうことになった。ところが、よなかおばばにたべられそうに・・・。

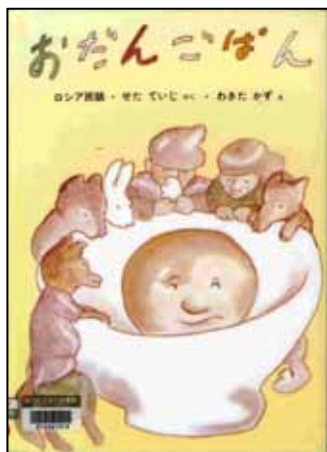
そこでこぞうは、べんじょのかみさまからもらったさんまいのおふだをもって、あわててにげだした。

(4歳から)



## おだんごばん ロシア民話

せた ていじ/やく わきた かず/え 福音館書店



おばあさんがこなをあつめて、かまどでやいたおだんごばん。

まどで冷やしているうちに、ころころころがって、おもてのとおりへ。

うさぎやおおかみやくまに食べられそうになるが、歌をうたって逃げてしまう。

でも、口のうまいきつねに出会ったばかりに。

(4歳から)

## パンのかけらとちいさなあくま リトアニア民話

内田 莉沙子/再話 堀内 誠一/画 福音館書店



びんぼうなきこりから、パンをとったちいさなあくまは、おおきなあくまからおこられる。

そこで、きこりのところへいき、おわびにと、どろどろのぬまをむぎばたけにかけて、みごとなむぎをつくるのだが、そのむぎを じめしにとられてしまう。

(4歳から)

## やまなしもぎ

平野 直/再話 太田 大八/画 福音館書店

びょうきのおかあさんのために三にんのきょうだいは、やまなしもぎにでかけた。

たろうとじろうは、やまなしもぎに行ったきり、いつまでたってもかえってこない。

しんぱいしたさぶろうが、出かけていくと・・・。

(4歳から)



## かにむかし

木下 順二/文 清水 崑/絵 岩波書店

はまべで、かきのたねをひろった かにには、まいにちせっせと水をやったり、こやしをやったり。

「はようめをだせ かきのたね。ださんとはさみでほじりだすぞ」と、かにが おどすので、かきはそだち実もなった。

するとそこへ、山のうえからいっぴきのさるがやってきた。

(4歳から)



## かぐやひめ

円地 文子 / 文

秋野 不矩 / 絵

岩崎書店



昔、おじいさんがたけやぶで竹を切ってみると、手の指ほどの女の子がいました。おじいさんは女の子をうちへつれていき、おばあさんと大事に育てました。

やがて、光輝くばかりに美しく成長した女の子は かぐやひめと 呼ばれるようになりました。

( 5 歳から )

## さんねん峠 朝鮮のむかしばなし

李 錦玉 / 作

朴 民宜 / 絵

岩崎書店

さんねん峠には、「さんねん峠で転ぶと、三年しか生きられない」という言い伝えがある。

ある秋の日のこと。おじいさんがとなり村へ行く途中、石につまずいて転んでしまった。

びょうきになったおじいさんの前に、びょうきをなおすという男の子があらわれて・・・。

( 6 歳から )



## よみきかせ Q & A

### Q . いくつまで本を読んであげればいいのか？

お子さんが「読んで！」という限りは、いつまでも読んであげてください。字が読めるようになって、はじめは字を追うことが主で、おはなしを楽しむまでにはいたりません。

また、すらすら読めるようになって、読んでほしい時もあります。もう字が読めるからと言わず、読んであげてください。読んでもらってこそ、楽しめるおはなしの世界もあります。親子でいっぱい楽しんでください。

\*\*\*\*\*  
リストの年齢は目安です。個人差がありますので、子どもの関心にあわせてお選びください。

### おはなし会もどうぞ！

区立図書館では、毎週水曜日(品川図書館は土曜)の午後に幼児を対象とした絵本の読みきかせや紙芝居・手遊びなどの「おはなし会」を開催しています。時間等は各図書館へお問合せください。

発行： 品川区立図書館

平成19年8月23日(毎月23日発行・第29号)

問合せ：品川図書館(品川区北品川2-32-3 3471-4667)

このリストの表紙絵使用は、各出版社の許諾を得ています。

バックナンバーが品川区立図書館ホームページ (<http://lib.city.shinagawa.tokyo.jp/>)  
でご覧いただけます。(トップページ 「テーマ別ブックリスト」)